

発行 医療法人真正会
ホームページアドレス
メールアドレス

埼玉県川越市安比奈新田283-1
<http://www.kasumi-gr.com/>
info@kasumi-gr.com

設立理念 老人にも明日がある



目次

●理事長 巻頭の言葉

●ボランティア活動について

●インフルエンザ予防接種
特定健診のお知らせ

●おながわ日記

●防災の日の取り組み

●表紙の写真から

●お知らせ



【福祉用具のある風景】フォトコンテスト 特選：デイリハセンター 村松峻介・撮影「タイトル：オフロサイコー♪」

今でも現実起こったことと認めたくない大惨事からもう半年が過ぎました。辛い悲しい半年間でしたが、被災地を中心に「明日」に向けた様々な「息吹き」を感じるようになってきました。私たち真寿会・真正会は、新たに「社会貢献」を事業理念に加え、宮城県女川町や福島県双葉町の被災者支援を続けています。特に双葉町に対する支援は、県や全国レベルの震災対応ボランティアチームの一員として活動してきましたが、旧騎西高校へのリハビリ支援に加えて、10月以降は福島県内の仮設住宅などへ巡回する新たなスタイルの支援活動にも入る予定です。理事長の立場では、支援活動に参加しているスタッフたち、それを支えてい

るスタッフや早く被災地に送り出してくれるスタッフの家族の皆さんすべてに感謝の気持ちで一杯です。

私たちが掲げている設立理念「老人にも明日がある」の「明日」は、まさに震災（障害）からの復興（回復）に相通ずる志です。最終期限を設定せずに私たち医療・福祉の専門職チームだからこそできる支援活動を今後も継続していきたいと考えています。

今回自分たち自身が支援活動に入り、改めて当法人内の施設や事業所でボランティア活動をされている皆さんの「心」を再認識しています。感謝です！今後ともよろしくお願い申し上げます。

医療法人 真正会 理事長 斉藤正身

ボランティア活動について

東北地方を未曾有の大震災が襲った3月11日から早くも半年が過ぎ、岩手や宮城では復興ムードに湧いていますが、一方で福島県では原発事故の影響を大きく受け、未だ先の見えない避難生活を余儀なくされている方も多く、ストレスを抱え埼玉に避難されている方々は依然として支援の手を必要としています。

【町全体で避難・さいたまスーパーアリーナから旧騎西高校へ】

福島県知事からの緊急要請により、原発事故によって避難された方のうち約5000人がさいたまスーパーアリーナに避難されたのが3月15日になりますが、その1週間後の3月22日から、当法人はボランティア活動を開始しました。避難所の生活はコンクリート上に毛布1枚という、とても住むに耐え難いものであり、生活し始めてすぐ関節痛や足のむくみなどの症状、また不活潑な生活による体力や筋力の低下が多く見られました。そこで支援活動は「とにかく身体を動かしてもらう」ことを目的に、毎日休むことなくグループでのストレッチ体操の提供を続け、数日のうちに1日数百人と身体を動かすまでになりました。

【CBR-Saitama Med.結団】

スーパーアリーナは3月末退去となり、その中の福島県双葉町民約1400人は旧騎西高校に生活の場を移し新たな生活をスタートさせました。私たちは同じ埼玉県内への避難である以上継続支援が必要と考え、埼玉県医師会が中心となった、埼玉県理学療法士会・埼玉県作業療法士会・埼玉県言語聴覚士会を含む4団体が、名称を「CBR-Saitama Med.」として結団し、4月8日から支援活動をスタートさせました。当法人のスタッフがリーダーとなり、県内の医療機関から数百名のボランティアスタッフとともに、毎日欠かさず支援活動を今もなお継続しています。

活動の内容はグループでのストレッチ体操を中心に、個別のリハビリ相談、精神ケアのための傾聴、体力低下された方の掘り起こしに加え、町職員のサポートとして社会福祉協議会の事業を支援しています。ちなみに当法人の職員は、現在も毎日数名ずつ派遣していますが、避難されている方々の明るさや前向きさに、参加した職員が逆に元気をいただきながら活動している印象です。



一方で福島県猪苗代町にあるホテル「リステル猪苗代」にも双葉町の方が約800名避難されていますが、ホテル



とはいえ段差や傾斜の多い立地で、手すりが未整備であることなど、高齢者や身体が不自由な方にとっては外に出ることすら大変な環境で、閉じこもりや体力低下を懸念する町からの強い要望もあり、私たちはそちらにも活動の場を広げました。とはいっても当法人職員だけでは対応が難しいため、リハビリに関係する全国10の団体で組織する「リハビリ支援関連10団体」に派遣要請を行い、全国の医療機関からの協力を得ながら活動を継続しています。

【明日に向けて】

9月末にリステル猪苗代の避難所機能が終了するため、現在では多くの方が次の居住先を見つけて引越し始めていますが、その一つが仮設住宅です。私たちはこれまでの半年に渡る継続支援を終わらせることはできないと考え、双葉町が設置する数ヶ所の仮設住宅を巡回支援することにしました。支援スタッフの宿泊や備品の運搬用にキャンピングカーやその他多くの備品を新たに購入し、双葉町としっかり情報交換しながら10月の活動開始に向けて準備を進めているところです。

今後とも、この活動に対する皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

インフルエンザの予防接種が始まります

11月1日から、インフルエンザの予防接種が始まります。インフルエンザは通常1月上旬から3月上旬に流行します。ワクチンは接種後2週間から約5か月の間は十分な効果があるとされていますので、12月中旬までに接種を受けることをお勧めします。

【接種期間】平成23年11月1日～（ワクチンの在庫が終了するまで
通常1月中旬頃に終了します）

【費用】¥4,500円（税込）一般

¥1,000円（税込）助成対象者

※川越市に住民登録（または外国人登録）のある方で接種日時点で次のいずれかに該当する方は市の助成を受けられます。

- 年齢が満65歳以上の方
- 年齢が満60歳から64歳の方で心臓、腎臓、呼吸器等に極度の障害のある方

【注意事項】

- ・予約制ではございません。内科受付時間内にお越しください。（裏面をご参照ください）
- ・内科の混雑状況によってはお待たせする場合もございます。ご了承ください。
- ・市外の助成対象者の方はあらかじめ受診票をとりよせて窓口にお出しください。
- ・詳しくは、霞ヶ関南病院外来窓口までお問い合わせください。（TEL：049-239-7272）



特定健診の受診はお済みですか

霞ヶ関南病院では川越市の健康増進推進事業の委託医療機関として、以下の健診を実施しています。まだ、受診がお済みでない方は、健康チェックのために受診をお勧めします。期間は本年12月末までとなっています。

【川越市国民健康保険特定健康診査】

対象者：40歳から74歳までの川越市国民健康保険の被保険者
費用：無料（市が発行する受診券と保険証をお持ちください。）

【後期高齢者医療健康診査】

対象者：75歳以上の埼玉県後期高齢者医療被保険者
費用：無料（市が発行する受診券と保険証をお持ちください。）

【大腸がん検診】

対象者：川越市に住所を有する満40歳以上の方（ただし、勤務先、人間ドック等受診機会のある方、及び現在がんで治療中や経過観察中の方を除く）
費用：¥300円（但し受診日に70歳以上の方、または無料券をお持ちの方は無料となります。）
注意：ご自宅で2日間（2回）、便の事前採取が必要となります。予め便採取容器を取りに来ていただく必要がございます。

個別大腸がん検診（無料クーポン券持参の方）

川越市在住で、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の方には無料クーポン券が川越市から発行されます。容器を受け取る際にお持ちください。

【前立腺がん検診】

対象者：川越市に住所を有する満50歳以上の方（ただし、勤務先、人間ドック等受診機会のある方、及び現在がんで治療中や経過観察中の方を除く）
費用：¥600円（但し受診日に70歳以上の方、または無料券をお持ちの方は無料となります。）
注意：検査方法は採血となります。

インフルエンザの予防接種や健診に関するお問い合わせ、そのほか健康に関する心配事などがございましたら、霞ヶ関南病院外来までお気軽にお問い合わせください。

TEL：049-239-7272（外来直通）

		診察室	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	1	池田 弘	小峰 妙子	長澤 逸人	立川 太一 (リハビリ・脳卒中)	伊藤 功 (院長)	埼玉医大 医療センター
		2	安 佐里	伊藤 薫	池田 弘	伊藤 雅美	伊藤 薫	
	午後	1	長川 史	伊藤 薫	有山 茂和 (消化器内科)	白岩 秀隆	伊藤 薫	
生活習慣病科 (完全予約制)	午前	3		(伊藤 薫)	松本 博		(伊藤 薫)	松本 博※1
	午後	3		(伊藤 薫)	松本 博		(伊藤 薫)	松本 博※1
リウマチ科 (完全予約制)	午前	3	安倍 達	安倍 達			安倍 達	
	午後	3						
泌尿器科 (完全予約制) 午後 15:00 まで	午前	2						清水 浩一※2
	午後	2						清水 浩一※2
皮膚科	午前	皮膚科 診察室	太田 房代	太田 房代		太田 房代	太田 房代	
	午後					太田 房代		
眼 科	午前	眼科 診察室	太田 有夕美	橋本 加奈		橋本 加奈	木下 望	木下 望
	午後		太田 有夕美	橋本 加奈			木下 望	
神経内科 (完全予約制)	午前							
	午後	2				埼玉医大 国際医療センター		
整形外科・形成外科 (完全予約制)	午前		渡邊 芳子		渡邊 芳子		渡邊 芳子	
	午後	3				渡邊 芳子※3		
検 査 (完全予約制)	午前	各検査室			視野検査※4			
	午後				胃カメラ			
在宅ケア相談外来 (完全予約制)	午前	カフアルーム A		斉藤 正身	斉藤 正身		斉藤 正身	
	午後	外来診察室	斉藤 正身	斉藤 正身	斉藤 正身			
アザイクソウ外来	午後	(完全予約制)		太田 房代	斉藤 克子 (午前)		斉藤 克子 (隔週)	
歯 科 (完全予約制)	午前	歯科診察室	福田 文恵	福田 文恵	福田 文恵	中山 京英	福田 文恵	
	午後		福田 文恵	福田 文恵	福田 文恵	中山 京英	福田 文恵	

※受付時間 [午前] 8:30~11:00 [午後] 13:30~16:30 (診察開始は9:00/14:00からとなります)

※MRI検査 CT検査 超音波検査等 随時検査も行っております。

※各科、休診の場合もございます。ホームページでも休診情報をご覧ください。

URL <http://www.kasumi-gr.com/txt/kyuushin.html>

※詳しくは外来受付までお問い合わせください。(電話 049-239-7272 外来直通)

※1…土曜日の生活習慣病科は第2、4週

※2…土曜日の泌尿器科は第2、4週

※3…木曜日の整形外科/形成外科は第1、3、5週

※4…水曜日の視野検査は第3週

おながわボランティア日記

5月23日～6月27日までの5週間を、真寿会・真正会の3名（看護1名・介護2名）1チームとし、宮城県女川町にある特別養護老人ホーム「おながわ」のスタッフ支援をさせていただきました。施設自体は、港からひと山越えた場所に位置するため津波被害は免れたものの、そこで勤務するスタッフは津波で家をなくしたり家族が行方不明という状況の中働いている現状でした。「地震発生直後は、停電によってすべての情報が途絶え地震以外に何が起きているのかさえわからず、目の前にいる入居者の安全確保を最優先に行動し、三日三晩は施設を離れられず家族の安否さえわからなかった」と話してくれました。震災から2ヶ月近く必死で頑張ってきたスタッフ自身の時間や休息が確保できればとボランティアで支援を行いました。「被害にあった町を絶対見て帰ってください。」というその言葉の奥には・・・港を訪ねその光景に言葉を失いました。



職員一丸となって前進しようと元気に笑顔で働く姿に、私たちが勇気と元気をいただいてきました。

復興を願いつつ、元気なスタッフにまた会いに行きたいと思っている私たちです。

女川ボランティア参加者一同

防災の日の取り組み

今回の被災地支援に携わる中で関東で大規模な災害が起こった際の患者さん・利用者さん、ならびに地域の方々への支援の必要性を痛感し、今までの防災対策の見直しを行っています。そのひとつとして9月1日「防災の日」の昼食時に、被災時を想定した食事を提供しました。

患者さんも職員も約500名が無洗米を炊いたご飯、備蓄品のカレーと、缶詰のフルーツを体験しました。ライフラインが止まった事を想定し、発電機や卓上コンロを使い土鍋でご飯を炊きました。水を入れ混ぜるだけでご飯になる非常用食品を作り試食し、食器は使い捨てのものを用い患者さんの使い勝手やごみの量を把握しました。

患者さんと一緒に「被災したら・・・」と様々なことを考える有意義な1日となりました。今回頂いたご意見や反省をもとに今後の備蓄食や対応・準備等について考えていきます。



防災について参考になるホームページ

内閣府【今日から始める

私の防災のページ】

URLは

<http://www.bousai.go.jp/>

[minna/watasino/index.html](http://www.bousai.go.jp/minna/watasino/index.html)



表紙の写真から

福祉用具の普及・啓発を目的とした「福祉用具の日」は、今年の10月1日で10周年を迎えました。この記念として、(社)日本福祉用具供給協会主催で、「福祉用具のある風景」をテーマにフォトコンテストが開催されました。

当法人からも職員有志が応募した結果、デイリハセンターの村松峻介が特選(表紙の写真)、霞ヶ関南病院すみれ病棟の阪井之哉、霞ヶ関南病院けやき病棟の酒井太郎がそれぞれ入選しました。

フォトコンテストの詳細は以下のURLからご覧ください。

<http://www.fukushiyogu.or.jp/yougunohi/2011photocontest/>



入選
霞ヶ関南病院すみれ病棟・阪井之哉
「タイトル：いただきます」



入選
霞ヶ関南病院けやき病棟・酒井太郎
「タイトル：新学期」

お知らせ

今年も特別養護老人ホーム真寿園にて『第18回 地域感謝祭 ふれあい広場』が開催されます。昨年は雨にもかかわらず、大勢の地域の方々にご参加いただきました。また、一昨年に感謝祭のオープニングで飛ばした『夢風船』は、遠く杉戸町や茨城県まで届き、茨城の小学生から暖かいお返事の手紙が帰ってきました。今年は例年の模擬店やバザーに加え、「東北物産展」を開催し、東日本大震災の復興支援をお手伝いできる企画も検討しています。



昨年の模様(メインステージにて)



(模擬店横でくつろがれる様子)

※諸般の都合で、「まぐろの解体ショー」は中止となりました。

開催日時：平成23年11月5日(土) 12:00~15:00

開催場所：特別養護老人ホーム 真寿園



夢風船への
各地からのお返事